第１回 東寺方小学区エリアミーティング 開催報告

日時：2026 年 10 月 10 日（土）10:00～13:00

会場：多摩市立東寺方小学校 ランチルーム

東寺方小学区モデルエリアでは、エリアミーティングと協創ミーティングの２本立てで地域の皆様向けのミーティングを開催しています。今回は、エリアミーティングであり、これから地域との関わりを持ち始める方々を対象としています。今回もですが、私たちのエリアミーティングでは、共同研究発足当初からご一緒している地域の方々が応援に駆けつけてくださり、また研究室で他の共同研究を実施している関係者の皆様に視察にお越しいただく機会などもございます。

第１回エリアミーティングは、3 時間のプログラム２部構成で開催され、５人組のチームが４班構成されました。今回は、地域住民の方々の中に高校生、自治会役員、行政機関の福祉分野に携わる方をはじめ様々な方々にご出席いただきました。

前半部は、自治体シミュレーションゲームの「シミュたま」。ある日、隕石が降り注ぎ、仮想都市の市役所から全市職員が連れ去られ、無事であった地域住民が行政職員の代行を務めるというシナリオです。

３部構成でゲームが展開され、第１ラウンドは、市役所に残された 19 の取り組みのうち、３つを削減するタスクでした。数年後の第２ラウンドでは市長選が行われ、当選した市長の公約に基づき、さらなる取り組みの削減や借り入れとしての公債発行の有無について判断を迫られたり、議会チェックが入るプロセスの体験などもありました。

そして、第３ラウンドにおいて、各班がどのような市の姿になったのかが示されました。これら一連のプロセスを通じて、市役所という立場で、限られた資源のもと何をどう残していくかという課題に向き合うことができました。



小休止ののち、後半部へと入りました。後半部は、ゼミメンバーが企画・運営したワークショップでした。前半部で体験した市役所の立場でのまちづくりを、より身近な場で考えるものでした。メインのワークでは、まず個別に付箋を使って、今の関心ごとについてキーワードを記載していただきました。



そして、記載したキーワードをグループメンバー間で共有し、キーワードを持ち寄って、グループ単位でできそうなことはあるかを大型の模造紙にまとめました。まとめた内容は、模造紙をポスターとして、全体発表の場で報告されました。

身近な生活のトピックとして、多摩センターから聖蹟桜ヶ丘に戻るバスが早く終わってしまうことから両区間をロープーウェイで結ぼうというプランの提案、その聖蹟桜ヶ丘周辺におけるけが人が続発する通学路問題などが共有され、地域の利便性や安全に関する課題が示されました。

他にも、絵画教室や焚き火を楽しみながらの星空観測といったアイデアが寄せられた班、若い世代の人たちの意見をよりとり入れた地域活動の進め方が話題になった班、かまどベンチや芋掘り、職業体験イベントを提案いただいた班も。ファシリテーションを務めたゼミ学生からは、「年齢に関係なく、私自身も自分とは違う意見にもっと目を向けようと学びました。」という感想も寄せられました。

最後に、会場全体で意見交換会がなされ、各班の良かった点や印象に残った点などが議論されました。第１回エリアミーティングに続いて、第２回エリアミーティングでは、地域で実際に何かに取り組むための、各自の特性を知るゲームや、集まったメンバー間の役割分担について学ぶ企画が予定されています。

今回ご参加いただいた皆様、そしてご興味をお持ちいただいた皆様、第２回エリアミーティングのご参加を心よりお待ちいたしております。　　（ゼミ研究室）

